

すこやかだより



さて、国連から3度も勧告を受けてきたようですが、またわが国では養子制度が根付かない風土があったことが大きな原因かな、とも思います。上記の厚労省からの発表は、理想を述べたまで、という前提があるとのことですが、一時保護は2か月をこえてはならない、家庭裁判所(司法の関与)の勧告のもとでの保護者指導を重んじる、ということが優先されることでした。

①就学前の新規措置入所を原則停止する。
②里親委託率を、75%以上に増やしたい。

9月21日(木)、全乳協1日目に厚労省子ども家庭局審議官から行政説明がありました。皆様、8月はじめにマスコミなどで乳児院への就学前の措置入所が停止されるなどの報道があり、驚かれたことと思います。この報道を聞いて、私も大変腰を抜かすほどびっくりいたしました。今回の全乳協は、この報道をめぐっての行政説明に尽きる、と言っても過言ではないくらい、このことに関するシンポジウムなどが企画されておりました。

幸い乳児院では、まだRSウイルスははやってはおりません。巷では、RSウイルスが大流行らしいので、今年は例年より早くシナジス。を8月から、インフルエンザワクチンは10月中旬から始めています。



「先日のプレスリリースの内容は、8月2日に開催された、新たな社会的養育の在り方に関する検討会、での結果についてです。社会的養育は、あくまでも家庭養育を優先すべきで、そのために具体的な数字として、愛着形成に最も重要な時期である3歳未満は概ね50%に、それ以外の就学前の子どもについては7年以内に里親委託率75%以上を実現し、学童期以降は概ね10年以内を目途に里親委託率50%以上を実現すべきだと思われま

9月22日(金)、全乳協2日目は、課題をこえて進化するー乳児院の新たな可能性を求めてー、と題してシンポジウムが開かれました。コメントーターとして、先ほどの審議官から発言がありました。

そのために
a. 里親とチームで研修や支援を一貫して行うフォスターリング機能の強化
b. 社会的擁護機関を評価する専門的評価機関を設置
c. 里親や乳児院の名称変更
などで、①、②を実現させたい、とのことでした。

いづれにしろ、大阪乳児院は5年後に移転して、新しい乳児院として再出発いたしますが、医療併設型という特徴を生かしさらに、第三者評価での結果をいかして、地域との交流をはかりつつ、小規模グループケア、里親支援を課題に社会的擁護に邁進していきたいと考えております。



大阪乳児院運営理念
・子どもの最善の利益を守ります
・社会的養護の立場から、地域社会と協力して、子どもとご家族を支援します

こ ん な と き ど う す る ？

予防接種のおはなし

～インフルエンザのワクチンについて～

だんだんと寒さを感じるようになり、今年もインフルエンザの流行のニュースが聞かれるようになってきました。皆さま、インフルエンザの予防接種はもう打ちましたか？今回はインフルエンザワクチンについてお話ししたいと思います。

○今年のワクチンの種類
インフルエンザウイルスは毎年少しずつ性質を変化させて流行します。そのため、ワクチンもそのシーズンに流行が予測されるウイルスに合わせて製造されています。十分な免疫を保ち、予防するには毎年インフルエンザワクチンの接種を受けた方がよいと考えられます。今年もA型2種類と、B型2種類の合計4種類に対応したワクチンになっています。

○ワクチンの効果
「ワクチンを接種したのに、インフルエンザになってしまった」という方もいるかもしれませんが。残念ながらインフルエンザワクチンは、接種すればインフルエンザに絶対にかからない、というものではありません。ある程度の発病を阻止する効果があります。また、発症後、多くの方は1週間程度で回復しますが、中には肺炎や脳症等の重い合併症が現れ、入院治療を必要とする方や死亡される方もいます。これをインフルエンザの「重症化」といいます。ワクチンの最も大きな効果は、この重症化を予防する効果です。

○ワクチンの接種時期
ワクチンの予防効果が期待できるのは、接種した(13歳未満の場合は2回接種した)2週間から5か月程度までと考えられています。インフルエンザの流行は12月下旬から3月上旬が中心になるので、なるべく12月中旬までに初回のワクチン接種をしたほうが効果的です。
★大阪乳児院では1回目の接種を10月の中旬から順次開始しています。

○ワクチンの接種回数
生後6か月以上の子どもから接種が可能です。通常、12歳以下の子どもは2回接種、13歳以上で1回接種です。2回目の接種は、2～4週間の間隔をおいて接種すると効果的です。

○卵アレルギーとインフルエンザワクチン
インフルエンザワクチンの製造には鶏卵を使用しているため、卵の成分が含まれますが、国内のワクチンに含まれる卵白の量はとても微量です。そのため、多くの場合問題なく受けることができますが、判断に困る場合はアレルギー専門医に相談するようにしましょう。また、万が一のアレルギー症状に備えて、30分は病院内で様子を見るようにしましょう。



11月から、面会時間が変わります。

面会時間
10:00～12:00
14:00～16:00

<編集後記>
読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋。皆さんはどの秋を堪能されていますか。私は、毎年必ず食欲の秋だけは、外せません。今年は、梨やぶどうなど果物を堪能しています。確か去年は栗だったかなあ…。食欲の“秋”と言いつつ、“冬”に突入しても、お鍋やお餅などを楽しんでいます。結局1年通して食は楽しみの1つです。今年は、子ども達にならって、芸術の秋や、運動の秋にも挑戦してみたいと思います。

(編集委員 花村)

おうちで作ってみませんか？
～お手軽レシピ～
No.20
●切り干し大根のナポリタン風●

【材料】	【作り方】
<ul style="list-style-type: none"> 切干大根(乾燥状態) 30g ロースハム 2～3枚 玉ねぎ 1/4個 にんじん 1/4本 ピーマン 1個 オリーブ油 大さじ1 水 400mL コンソメキューブ 1個 砂糖 小さじ1 ケチャップ 大さじ2 しょうゆ 小さじ1 	<ol style="list-style-type: none"> 切干大根は洗って、水に10分ほど浸してもどす。ざくざくと食べやすい大きさに切る。 玉ねぎ、にんじん、ピーマンは3～4cm長さのせん切りにする。ハムは幅7～8mmに切る。 フライパンを熱し、しっかり水気を絞った切干大根をさっと炒めて水分をとばす。 ③にオリーブ油と玉ねぎ・にんじんを加えて炒め合わせる。玉ねぎがしんなりしてきたら水、コンソメ、砂糖を加えて蓋をし、弱火で3分ほど煮る。 ⑤ピーマン、ケチャップ、しょうゆを加え、煮汁がなくなるまでしっかりと煮詰めてできあがり。

ぼくのわたしの秋、みつけた!

運動会

秋の気配を感じるようになってきた9月下旬、大阪乳児院で初めての運動会を開催しました!

赤ちゃん部門では、ハイハイ山越え!日ごろの特訓を活かして一生懸命、坂を登りました。

幼児さん部門は、輪くぐりお菓子つかみ!

輪くぐりは一生懸命輪をくぐった子どもと、景品のお菓子が欲しくて輪をくぐらずにゴールする子どもなど、みんなそれぞれの活躍を見せてくれました。

大人も子ども達も楽しい1日になりました。



芸術の秋

ひよこ室でハロウィンの製作を行いました。まだ月齢が低いので手形と足型を取り、おばけとかぼちゃを作りました。

スタンプ台の上に手を乗せると気持ち悪いのか、嫌がる子やポンポン叩いて遊ぶ子など反応は様々でした。目や口を付ければ、かわいいおばけとかぼちゃの出来上がりです。最後に、壁に可愛く飾りつけをしました。



レゴランドへ!!

9月上旬、天保山にあるレゴランドへ遠足に行ってきました!

レゴブロックで出来た大きなキリンさんに出迎えられ、思わず後ずさりをしてしまった子もいましたが、館内に入るとみんな大はしゃぎで汗だくになって遊びました!



遠足の秋

10月中旬は大型バスに乗って、動物園に行きました。曇り空、時々雨とお天気には恵まれませんでしたが、子ども達はバスに乗ったり、色々な動物を見たり、遊びコーナーに目を輝かせて楽しむことができました。

動物園へ!!



戸外での活動も楽しんでいます。散歩、遠足では外の景色にドキドキワクワクの子ども達です。言葉は出ていなくても子ども達なりのコミュニケーションをとって楽しんでいます。

お散歩へ♪

